

杉並区産業振興計画 取組状況一覧

目標 1 多様な産業と住宅都市が共に発展するまち (本文 P 4)

②産業振興センターにおける連携体制の構築 **重点** (本文 P7)

計 画	取組状況
区と産業団体が同じ施設の中で業務を行う「杉並区産業振興センター」において、緊密に連携しながら区内産業の振興を促進していきます。また、日常的な意見交換や協働による事業実施に加え、産業振興センター関係機関連絡会の場を活用して恒常的に課題を共有し解決していきます。	条例案や計画の取組状況、産業経済団体の加入促進策等のほか、各団体との連携に関することを話題にして、四半期に一度、関係機関連絡会を開催している。協働事業等としては、ビジネス交流会、産業フェアの出展、創業セミナー、商工相談を実施している。

④産業団体等と区の連携による交流の場の拡大 **重点** (本文 P7)

計 画	取組状況
業種の異なる様々な事業者が互いの経営資源を結びつけ、新たなビジネスチャンスにつなげることができるよう、異業種交流会を産業団体と区が連携して開催していきます。また、国や都、関連団体などが開催する交流会、展示会、ビジネスマッチングフェアなどに、より多くの区内事業者が参加・出展できるよう、産業団体と区が連携して支援していきます。	<p>※異業種交流会の開催 26年度は「異業種交流会 in すぎなみ」を四半期に1度開催。 6月30日(40事業者募集、49社66名参加)、9月9日(40事業者募集、51社67名参加)に実施し、11月25日、2月10日に開催予定。</p> <p>※ビジネスフェアへの参加 昨年度と同様、産業振興センターとして出展し区内事業者のPRを行う。 ・「2014 よい仕事おこしフェア」(主催：城南信用金庫)8月5日～6日 (区内事業者出展者数：3社) フェア全体来場者数 約4万人 センターブース来場者数 520人 ・「ビジネスフェア From TAMA」(主催：西武信用金庫)11月6日 ・「産業交流展 2014」(主催：東京都)11月19日～11月21日</p>

⑤ (仮称)すぎなみまつりでの区内事業者との連携 **新規** (本文 P7)

計 画	取組状況
人が集まることによって元気が生まれ、情報の発信にもつながります。区内には、他と比較して引けを取らない技術・商品を有している個性的な事業者が多く存在しています。これらを区内だけでなく、区外の事業者や住民に売り出すことができる場を提供し、区内産業の良さ	平成26年度も昨年度同様、「すぎなみフェスタ」と連携して区内産業のPRを行う。 産業フェアは実行委員会(構成員：杉並産業協会、東商杉並支部、杉並区産業振興センター)を再構成し、製造業を中心に13事業者出展予定。会場は杉並会

<p>を多くの人に知ってもらい、ビジネスマッチングやジョブマッチングなどにつなげていく必要があります。そのため、産業や交流などをコンセプトに、区内事業者等とともに、「(仮称) すぎなみまつり」に取り組んでいきます。</p> <p>* ビジネスマッチング: 企業の事業展開を支援する等の目的で、事業パートナーとの出合いをサポートするサービスのこと</p> <p>* ジョブマッチング: 仕事と人材、企業と個人をつなぐ橋渡しをすること</p>	<p>館に変更。パン祭り、スイーツフェアは合計 26 店舗で実施予定。</p> <p>その他、農業祭の共催、「杉並ナンバー交付開始」や「中央線あるあるプロジェクト」のPRなども実施予定。</p>
---	---

⑦創業支援 **重点** (本文P8)

計 画	取組状況
<p>創業までの手続きや資金計画の立て方を学ぶ創業支援セミナー、起業・創業した人たちの経験から学ぶワークショップなど、創業後の順調な発展につながる支援を充実させていきます。</p>	<p>※創業セミナーの開催 産業競争力強化法・創業支援事業計画の特定創業支援事業として、地域で事業を成長させるための実践的なセミナーを下半期に開催(複数日)予定。</p>

⑩相談機能の充実 **重点** (本文P8)

計 画	取組状況
<p>区内の経済事情に詳しい相談員によるきめ細かな相談や経営アドバイス、産業団体や都と連携した相談体制の拡充など、相談機能を充実していきます。また、図書館を活用した創業・経営相談を実施していきます。</p>	<p>商工相談は、東商杉並支部の経営相談と連携して実施中。</p> <p>今年度は、センター、阿佐谷図書館、創業支援施設での各相談を、一括した業務委託(NPO 法人杉並中小企業診断士会)により連携して実施し、よりきめ細かな相談を行っている。</p> <p>阿佐谷図書館での相談は毎月第2土曜日に実施。</p>

目標2 区民生活を豊かにする産業に支えられ、安全で住みやすいまち(本文P10)

①商店街の防犯カメラ設置・装飾灯LED化等の促進 **重点**

計 画	取組状況
<p>防犯カメラの設置や装飾灯LED化等の整備助成により、地域の防犯対策の向上、交通の安全及び生活環境の整備を図り、安全・安心で地球環境にやさしい商店街環境を整備していきます。</p>	<p>①防犯カメラの設置 26年度も25年度同様、臨時的に国が創設した「商店街まちづくり事業(補助金)」を活用することとしたため(区の予算執行なし)、区は区内警察署と連携し、申請・設置に向けて商店会に対し積極的に周知・助言を行った。その結果、9商店街(107基予定)の事業が採択された。</p> <p>②装飾灯のLED化(26年度予算:</p>

	2,522 万円):6 商店街(200 本予定)に対し、6 商店街:ポール(277 本)、アーケード(409 灯)2,920 万円助成予定 ※予算については、活性化事業予算から流用
--	---

④地域特性を踏まえた商店街支援の促進 **重点**

計 画	取組状況
商店街の立地環境やその地域が持つ歴史、自然環境、文化などの地域特性を活かし、将来のまちづくりにつながる商店街の取組を積極的に支援していきます。	<p>※地域特性にあった商店街事業補助金 26 年度は 1 事業を採択。 ①純情デジタルサイネージ</p> <p>※地域商店街活性化事業補助金(国) 26 年度は、24 事業申請中、14 事業が採択された。 採択事例 ①純情商店街ブランドPR事業 ②街の力を育てあいプロジェクト</p>

⑥商店街からの提案事業への柔軟な支援 **新規・重点**

計 画	取組状況
まちづくりの視点を携えながらの地域ブランドづくりや商品開発など、地域経済の活性化や地域コミュニティの醸成等の相乗効果が期待できる、商店街が提案する様々な取組を柔軟に支援していきます。	<p>昨年度に引き続き、「チャレンジ商店街支援プログラム」に基づき、「チャレンジ商店街サポート事業補助金」や「地域特性にあった商店街事業補助金」、「商店街若手支援事業補助金」のほか「新・元気を出せ商店街事業費補助金」などにより柔軟な支援を行った。また、国の補助金の周知と申請にあたっての支援を行うなど、商店街から提案を引き出す取組みを行った。</p> <p>【26 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジ商店街サポート事業補助金 申請 11 件 ⇒採択 3 事業 ※採択 3 事業のうち、1 事業は取り下げ ○地域特性にあった商店街事業補助金 申請 1 件 ⇒採択 1 事業 ○新・元気を出せ商店街事業費補助金(イベントを除く) 活性化事業 申請 7 件(装飾灯・アーチの建替え・マップ等)

⑧専門家の派遣による商店街の経営力強化 **重点**

計 画	取組状況
商店街が抱える課題やニーズに対応できる幅広い分野の専門家を「商店街アドバイザー」として派遣し、組織活動の強化支援や経営改善などを図るためのアドバイスをを行い、商店街の経営力を強化していきます。	商店街アドバイザー制度において、より実効性を高めるため、企画・運営会社関係者、商店街活性化に実績のある学識経験者、NPO関係者などの派遣を促進する。26年度は和田商店会へ消費者アドバイザーを派遣し、国の地域商店街活性化事業の補助金を使い、「街の力を育てあいプロジェクト」に取り組んでいる。

⑩商店街加入の促進による組織機能の強化 **重点**

計 画	取組状況
商店街加入店増加による商店街の経営力や活動力の向上は、まちのにぎわいや活力の創出などにつながります。商店街に加入する必要性や意義を明らかにすることで、商店街と区が一体となって加入促進に取り組んでいきます。また、商店街を構成する個店・チェーン店・大型店が協力し、同じ目標に向かって大きな力を発揮することができるよう、商店街の組織機能強化を図っていきます。	商店街の未加入店舗の実態を把握するため、商店会連合会と協力し、調査を実施した。 商店会連合会加盟商店会の未加入率 13.85% 商店会連合会未加盟商店会の未加入率 11.88%

目標3 食卓に彩りと心に潤いを与える産業で、やすらぎがあるまち

①農地保全に向けた国・都・農業委員会等との連携 **重点**

計 画	取組状況
都市農地の保全について、農地法、生産緑地法などの農地関係法令や相続税等の税制度などの改正・改善に向け、国、東京都をはじめ、JA、東京都農業会議、他区等と連携・協議を進めていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・「都市農地保全推進自治体協議会（農自協：都内38市区町で構成）」 <ul style="list-style-type: none"> (1)H25.3.27に引き続き、H25.12.25「都市農地保全を推進するための要望」を国土交通大臣・農林水産大臣宛に要望した。 (2)H26.7.14第8回都市農地保全自治体フォーラムにて都市農地の保全への決意宣言をした。 (3)「都市農地保全に向けた納税猶予制度の適用拡大等」を求めH27年度国・都の施策及び予算に関する要望（全国市長会宛）を提出した。 ・杉並区・世田谷区・JA東京中央による協働事業アグリフェスタ2014（7月26日開催）で「都市農地を守るための共同提言」を行った。

④地産地消マーケットの推進 **重点**

計 画	取組状況
<p>各農家が個別に行っている直売所やJAが主催する即売会について、種類や量、開催頻度などを充実するよう、取組を進めていきます。また、区内産農産物が、商店街等の区民に身近な場所で気軽に購入でき、区内飲食店や学校・区施設などで広く利用されるよう、各農業者の生産力や生産時期等の計画、農産物の納入方法などの課題を踏まえ、区と農業者が協議を行いながら、地産地消の推進につながる流通システムの構築を検討していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・25年度は区で広報・人的支援を行っている主催即売会を20回開催した。 ・26年3月に生産者やJA、協働事業提案者等、地産地消事業の推進に関する準備会を開催した。 ・26年6月に地産地消推進連絡会を設置。9月に第二回を開催し、学校給食の地元野菜デーにおける配送事業や商店街等と連携した空き店舗の活用などの取組について検討した。

目標4 安心して地元で元気に働き続けられるまち

①相談者に寄り添った伴走型の支援 **重点**

計 画	取組状況
<p>就労支援センターの「若者就労支援コーナー（愛称：すぎJOB）」では、就労について様々な不安や問題を抱えているなど、直ちに就職に結びつきにくい人に対し、相談者の状況に応じた支援プログラムを作成し、そのプログラムに基づいた就労支援準備相談、職業相談から就労後の定着支援まで、相談者に寄り添いながら伴走型の支援を行っていきます。</p>	<p>※平成25年度の実績は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぎJOB新規登録者数：702人、就労準備相談の利用人数：347人、就労準備相談・心としごとの相談延件数：延1,804件、就労準備相談利用の就職・進路決定件数：159件（うち就職決定件数153件・目標120件） ・就労意欲を喚起するため就労支援セミナー：延16回、少人数のグループワーク：延46回、職場体験など交えたジョブスクール：4回 ・ハローワークコーナーの実績 職業相談6,997件、職業紹介5,593件、就職決定件数：453件（目標180件） <p>※平成26年度の新たな取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労準備相談の枠を毎週水曜日のみ20時まで4枠増やし、就労中の方の定着支援や転職等の相談に対応することとした。 ・受託者のスタッフを増員し、水曜日の夜間の対応と合わせてセミナーの充実（回数・内容）を図ることとした。

⑤社会参加・中間的就労の場の確保 **重点**

計 画	取組状況
<p>様々な就労阻害要因を抱え、直ちに一般就労に結びつかない人に対し、一般就労につながるよう、NPO団体、福祉施設、企業と連携しながら、ボランティア活動などの社会参加の場や中間的就労の場を確保していきます。</p> <p>* 中間的就労：一般就労に直ちにつながりにくい人が、準備段階として日常生活での自立や社会参加のために働くことができる就労機会のこと</p>	<p>25年11月から就労準備訓練及び社会適応力訓練支援事業を開始。</p> <p>※26年度（7月末現在）の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用登録者：44人、訓練登録者：12人 ・7月末現在、稼働している利用登録者38人、稼働している訓練登録者14人 ・7月現在、非正規雇用決定者：5人 ・7月現在、訓練で利用している事業所 <ul style="list-style-type: none"> ①西荻まこと幼稚園、②浴風会南陽園、③ゴミ減量対策課（小型家電の選別・分解作業） ・7月現在、協議中の事業所 <ul style="list-style-type: none"> ①杉並交通（スギコーケアセンター）、②上井草スポーツセンター（指定管理者）③山本学園明愛幼稚園④コープみらい（上井草店）

目標5 魅力的でにぎわいがあり、また行ってみたくなるまち

②多様なメディアを活用した効果的な発信 **新規・重点**

計 画	取組状況
<p>区広報・ホームページにとどまらず、ガイドブックの配布、新聞社とのタイアップイベントの実施、即時かつ広範囲に情報伝達が期待できる SNS の導入、娯楽性が高く誘引力の大きい AR の活用など、内容や用途に応じた効果的な発信を行っていきます。</p> <p>* SNS (social networking service)：社会的なつながりの場をインターネット上で提供するサービス。代表的なものに Facebook や mixi、Twitter などが挙げられる</p> <p>* AR (Augmented Reality)：拡張現実。知覚する現実をコンピュータにより拡張する技術。例えば、特定の写真や絵にスマートフォンをかざすと画面上で動画が起動するような仕組み</p>	<p>※「中央線あるあるプロジェクト」による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチコピー・ロゴの作成 ・専用 HP・FB の新設・運営 ・「杉並あるあるマップ」の制作・配布 <ul style="list-style-type: none"> 秋冬号 3 万部 春夏号 4.4 万部（+1.3 万部増刷） （JR「小さな旅」規格で発行） ・AR によるまち案内動画の配信 13 本 ・東京新聞による情報発信 <ul style="list-style-type: none"> （朝刊 53 万部 夕刊 20 万部） イベント等広告 まち歩き記事掲載 タブロイド紙の配布 10 万部 東京新聞 HP でのバナー掲載 ・JR 中央線中野駅～西荻窪駅に専用パンフレットスタンドの設置 6 台 ・フラッグによる PR ・AR とアニメを活用したまち歩きイベント「アニ×ウォーク」の開催 <ul style="list-style-type: none"> 荻窪・西荻窪編 （H26/2/15～3/28） 高円寺・阿佐ヶ谷編

	(26/5/17~6/3) ※「すぎなみ学倶楽部」による区内の魅力発信 年間約50万アクセス (H26全面リニューアル作業中)
--	---

③多言語化への取組支援

計 画	取組状況
<p>国外からの集客を視野に入れて、ガイドブックや飲食店のメニュー、簡易な接客問答等の多言語化への取組を支援し、来訪時の心のこもった手厚いおもてなしの充実を図っていきます。</p>	<p>※「高円寺観光化計画」発行支援 地域特性にあった商店街支援事業補助金を高円寺商店街連合会へ交付し、2ヶ国語併記のガイドブック発行を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H24 英 - 日版 2万部 ・H25 中 - 日版 ハングル - 日版 各2万部 <p>また、この取り組みの中で、飲食店メニューの英語化を図った。</p> <p>※多言語観光マップの制作 外国人向け多言語マップを、欧米系情報誌と提携して制作準備中。26年度は英語-日本語</p> <p>※FBの多言語発信 26年度は英語で発信。外国人ライターを募集し、9/1を発信開始目標に準備中。</p> <p>※市中の多言語化の促進 飲食店のメニューを中心に多言語化を促進する。26年度は英語版の作成に向けて作業中。</p>

⑥アニメコンテンツを活用した事業の支援 重点

計 画	取組状況
<p>アニメイベントの開催やキャラクターグッズの開発等、アニメコンテンツを活用した事業を支援することで、商店街の活性化やまちのにぎわいの創出を図っていきます。また、区公式アニメキャラクター「なみすけ」のさらなる知名度の向上を図り、民間事業者による「なみすけ」の商用利用を促進していきます。</p>	<p>※区内アニメ制作会社の協力を得て、アニメキャラクターを活用したまち歩きイベント「アニメウォーク」を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荻窪・西荻窪編 (2/15~3/28) ・高円寺・阿佐ヶ谷編 (次年度に繰越。5/17~6/30) <p>※「なみすけ」等の商用利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用マニュアルの改訂を行い、無償による商用利用承認を開始。 ・さらなる商用利用拡充のため、26年度に商標権登録を追加。